



一吟徹心霊
一曲能興国

錦友…第322号

〈令和7年7月20日〉

・編集・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
・発行・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
東京都港区麻布十番2-4-14
電話:東京03-5484-3301(代)
〒106-0045

令和7年度 定時総会

（）令和6年度事業報告並びに収支決算と 令和7年度事業計画並びに予算が承認される（）

令和7年度定時総会は、令和7年6月24日（火）9時30分より、滋賀県琵琶湖グラントホテルに於いて、各地からの会員の参加のもと開催されました。

この総会では、令和6年度の事業報告と収支決算及び令和7年度事業計画と予算についての審議が行われました。

正会員数433名中、出席者

暑中お見舞い

申し上げます

吟界の諸先生方をはじめ、全国各方面の皆様、並びに会員の皆様におかれましては、お変わりなくお健やかに過ごされることと存じます。

誌上より謹んで暑中のお見舞いを申し上げます。例のない猛暑が続きますが、十分ご自愛くださいまして、ご健勝と併せて益々のご発展をお祈り申し上げます。

令和七年 盛夏

（一社）詩吟朗詠錦城流 宗家 山元錦城
詩吟朗詠錦城会 会長 城戸城濤

署名人 山本城勘(山口)
若月城嗣(愛知)

◇ 提出議案 ◇

- 第1号議案 令和6年度事業報告書承認の件
- 第2号議案 令和6年度収支決算書承認の件
- 第3号議案 令和7年度計画書承認の件
- 第4号議案 令和7年度収支予算書承認の件
- 第5号議案 令和8年4月1日より令和8年6月30日までの暫定予算書承認の件

以上の議案についての審議が行われ、各議案とも賛成多数で承認されました。

◇ 報告事項 ◇

- ① 会議開催の報告
- ② 傘下団体の認可及び閉鎖の報告
- ③ 組織体長等の変更の報告
- ④ 会員数報告
- ⑤ 特別賛助会員と賛助会員の報告
- ⑥ 団体指導に関する報告
- ⑦ 全国大会開催地に関する報告

◎令和7年12月7日（日）

福岡県大野城市 「まじかぴあ」

◎令和8年9月27日（日）
東京都「大田区民ホール」
アプリコ
⑧ 会員異動状況

◇ 会員増強表彰 ◇

令和6年度中に新入会者を5名以上加入させた方6名を表彰しました。

- 氏原城爽（滋賀）
- 金子錦佑（長野）
- 和田錦堯（東京）
- 東本錦怜（福岡）
- 本村錦香（鹿児島）
- 江口錦道（福岡）

総会の様子



（次頁へ続く）

令和6年度 収支計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日
(単位 円)

Table with columns: 科目 (Category), 決算額 (Settlement Amount). Rows include: I 事業活動収支の部, II 投資活動収支の部, III 財務活動収支の部, IV 予備費支出.

(令和7年度定時総会第2号議案資料)

貸借対照表
令和7年3月31日現在
(単位 円)

Table with columns: 科目 (Category), 決算額 (Settlement Amount). Rows include: I 資産の部, II 負債の部, III 正味財産の部.

特別賛助会員および
賛助会員の表彰

長年にわたり賛助会員として
寄付を下された方を表彰し
ました。

特別賛助会員(敬称略)

- 山元会計事務所
さくら管財KK
(株)丸江藤屋
(有)金照堂 金子真次
(有)三重商会
(株)きど印刷所
賛助会員(敬称略)
本村正子(錦香)
松尾弓子(錦弓)

- 石橋悦子(錦紅)
島ひろみ(岡本錦祥)
緒方幸子(錦幸)
木下一夫(城純)
亀石千恵(錦爽)
吉川清忠(吉川錦洋)
鍛冶多美代(錦代)
鈴木操(錦蒼)
網代光平
関商会

- 斉藤猛(城鶴)
白崎信子(錦雪)
三浦昌子(錦昌)
村上隆信(城敬)
山田スミ子(錦寿)
竹野智子(錦藤)
宇根睦子(錦永)

- 佐々木順子(錦順)
豊岡敬子(錦敬)
井上好光(城好)
平松多恵(西川錦洗)
金丸佐和子(錦央)
岸 未来
横浜青葉道場

閉会の辞 本村錦香(鹿児島)

会員各位には、令和7年度の
事業遂行にあたり、引き続きご
支援とご協力をお願い申し上げ
ます。

新組織体の紹介

浮羽道場(福岡県)(再開)
道場長 田村錦綾

新師範の紹介

Table with columns: 雅号, 県名, 取得年月. Rows include: 鳥海城海(神奈川県) 7.3, 合田錦清(東京都) 7.3, 眞砂錦月(東京都) 7.3, 伊関錦代(神奈川県) 7.3, 藤岡錦少(大阪府) 7.5

催事の案内
(令和7年7月~8年3月)

◆本会主催 ◆本会后援

- ◆吟道の碑前祭
11月30日(日)
沼津市大瀬崎
◆詩吟全国大会
12月7日(日)
福岡県大野城市
前号に記載の東京都本部発足
65周年記念大会は次の通りに変
更になりました。
◆詩吟全国大会
令和8年9月27日(日)
東京都「大田区民ホール・ア
プリコ」

本部の動き (7.21より)
(7.6~20まで)

- 3月6~7日 令和6年度第二
回指導者講習研修会
17日 常務理事会
22日 理事会

- 4月6~7日 大阪府本部の指
導者講習研修会
5月14日 常務理事会
16日 理事会

- 25日 滋賀県本部の指導者
講習研修会
6月4日 長崎県・佐賀県本部
の昇格審査

- 5日 長崎県本部の指導者
講習研修会

令和7年度 事業計画書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

〔事業計画〕

事業(1) 公演の実施 (予算5,802千円)

- 一. 詩吟全国大会・・・令和7年12月7日(日) 福岡県大野城市

事業(2) 講習会、研修会の実施 (予算2,693千円)

- 一. 全国詩吟講習・研修会
第一回指導者講習・研修会・・・R7年6月23日(月)～24日(火)
滋賀県 琵琶湖グランドホテル
- 二. 全国詩舞講習・研修会
- 三. 全国琵琶吟講習・研修会
- 四. 傘下認可団体各都道府県本部指導者講習・研修会

事業(3) 総合芸術の調査並びに自主制作の実施 (予算2,109千円)

- 一. 琵琶舞曲等の自主制作・調査研究
- 二. 琵琶芸術の振興

事業(4) 図書の刊行、機関誌の発行 (予算1,481千円)

機関誌「錦友」321号～324号の4回発行する

事業(5) 広報・宣伝の実施 (予算251千円)

ホームページにより、広報・宣伝並びに情報開示に努める

事業(6) 合同事業への参画実施 (予算735千円)

- 一. 吟道之碑顕彰と維持管理・・・令和7年11月30日 沼津市大瀬崎
- 二. 日本伝統文化吟友会・・・令和7年10月26日 岡山県倉敷市
- 三. 二十一世紀詩歌朗詠懇談会
- 四. 他会等との交流

事業(7) 吟詠、詩舞、琵琶の普及並びに振興を目的とする本会認可団体の大会公演への後援 (予算260千円)

- 一. 都道府県本部大会
- 二. 支部・道場・吟詠部大会
福岡県 大野城道場発足1周年記念大会 令和7年5月11日(日)
- 三. 公開発表会・開拓普及発表会

事業(8) その他、各号に定める事業に関連する事業 (予算257千円)

表彰事業の実施及び賛助会員の募集事業

- 一. 会員増強に対する表彰 令和7年6月24日
- 二. その他の表彰 令和7年6月24日
功労者表彰、賛助会員表彰
- 三. 本会の趣旨に賛同し後援者である特別賛助会員及び賛助会員を募集する

事業(9) 不動産賃貸業 (予算480千円)

本会所有の「錦城会館」の一部を賃貸する

大野城道場設立一周年記念大会

令和7年5月11日(日)、大野城道場内の3教場(大野城・下大利・希望)の設立1周年を記念して大会を開催致しました。

大台吟「富士山」から始まり、伝統文化の「道・華道・書道・吟道」漢詩で綴る人生を吟う。

そして、大作の「琵琶舞曲 大田道灌」、「史詩 筑前の今昔より」にもチャレンジさせて頂きました。最後は、開催地に因んで「大野城讃歌」をご来場の皆様と共に合唱し、思い出に残る発表会となりました。



諸先輩、先生方のパフォーマンスの素晴らしさに感動し、お力添えに感謝し、大会を終えて、

今後の夢と目標に胸がワクワクしております。どうぞ、今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(大野城教場 平田不二香)



去年の6月から稽古を始め、まさか一年後に舞台上に立つとは思いませんでした。5名の仲間達との合吟「書道」は、練習を重ねるにつれ、声と心が一つになったように息が合い、練習が楽しくて仕方がありませんでした。

しかし、初めての舞台、ドキドキしながら皆で声を合わせ、吟じ終わった時は、ホッとすると同時に、先生が、大丈夫！

大丈夫！と言ってくれたからできたんだと、感謝でいっぱいでした。先輩方の吟に感銘を受け「まだまだ勉強しないと、奥が深い」と全員が感じています。

この発表会での経験は、詩吟の楽しさを再認識し、これから学んでいくための貴重な一歩になったと思います。この会を設けて下さった東本錦怡先生、準備からサポートまでしていただき

地域の文化に貢献

本町は、住みたくなる町づくりの一環として文化の振興に力を入れております。私たちの支部も、文化協会に加入して色々な事業に積極的に参加しています。

文化スポーツの殿堂として、「サンリーアイ」が30年前に建設され、今では住民参加型の運動方針が定着しております。

今回は、文化協会が主催し、町などが協賛する発表会が6月8日に実施されましたので、詩舞2題で出演しました。「名槍日本号」と「桜花詞」の2題で、勇壮ときらびやかさを表現し、観衆の皆様から好評をいただきました。

小川緑琳先生の熱心なご指導の下、出演者も一生懸命に練習

いた先生方、初心者私達に一人からご指導してくださった江口錦道先生に感謝し、これからも皆で楽しく稽古に励みたいと思っています。

下大利教場

小笠原緑
高木陽子

伊藤みさを
花岡礼子

入山智子



に堪え、当日に臨みました。詩舞が全プログラムの中で、異彩であったため、協会長から特に賛辞を頂きました。

高齢化の進化やコミュニティの崩壊が憂慮される中、自分の住んでいる町を愛し、住みよい町づくりに協働する喜びを感じて生きていく事は大切です。多くの町民が参加されることで、錦城会への入会が促進されることも、かすかに期待しております。

今後も町の色々な催事に積極的に参加し、地域の皆様と交流を深くして、自分なりの生きがい創造して行きたいと思っております。

(福岡県岡垣支部長 大堂城薩)

ちょっとお知らせが...

先日の指導者講習研修会の懇親会の席上、宴もたけなわになった時、舞台上で進行をしていた方を「あの方は、どなたですか？」お尋ねになった会員さんがいました。

あっそうか！改めて皆様にご紹介する機会は、なかったのかと思いきや、懇親会で賑やかな中ではありましたが、城戸城濤先生から改めて事務局員の信田城有さんをご紹介頂きました。さらに、岩堀錦游さんが主に経理を担当して下さいます。

五教場合同温習会と花見

寒風が吹きすさび、花冷えもものかは令和7年3月30日(日)、小倉北区にある「足立山妙見宮」の神楽殿をお借りして、岡本錦祥先生にご指導を頂いている5教場の合同温習会と花見が行われました。

参加者は、併せて27名、年齢も14歳から95歳と幅広く、遠方の大分、下関からも出席してくださいました。

温習会は、11時開会、先ずは会場の拝殿に向かって全員低頭参拝。開会の言葉、続いて岡本先生のご挨拶、開催までの神社側との交渉や準備等について話されました。後、北九州市議会議長となられた会員の中村義雄先生の市議当選のお礼と、今後会員として出席率が悪くなるかもしれないけど、何事も挑戦が大事、頑張ると決意を述べられました。

温習会は、続いて吟詠に入り、



司会の中村錦想さん

司会は中学3年生で準総伝の中村錦想(樹奈)さんが務めました。最初、全員で『富士山』を

合吟。27名が次々と吟じ、最後は、男女別に男性は松口月城作の『吟道』、女性は、逸名『桜花詞』を朗々と吟じ、会は終了しました。



女性の合吟『桜花詞』



男性の合吟『吟道』

伴奏は、岡本先生がオルガンを弾いてくださり、身内ばかりの気安さでしょうか、マイクの前に立つても緊張することも無く、背後で神様も聞いて下さり、特に男女別の連合吟は好評で大きな拍手が起きました。

午後は、神社の境内で一番という桜の木の下にシートを敷いて花見です。座布団は、段ボール箱で眺えられ、お世話係の方々が知恵と工夫をしほり設営されました。

花見弁当は、三段重、料亭の味が漂い食欲をそそられました。花冷えの下での宴会は、少々きつかったけれど、余興もあり盛り上がりしました。花も爛漫、会員のお顔も花のようにほころび、春宵に至らずとも一刻の幸せを楽しく感じた一日でした。

鉄砲の里

国友の散策

6月9日(月) 山東・関ヶ原支部の会員が集い、鉄砲で有名な長浜市国友町を散策しました。この国友という村は、姉川古戦場跡が近くにあり、小説家の司馬遼太郎氏や吉川英治氏も訪れています。

この日は晴天に恵まれ、「国友鉄砲ミュージアム」にて火縄銃を見学し、その後は国友の村

高齢者が多いこの会、次も元気でおいしまししょう」とお互いを励ましながら花見もお開きになりました。

今回も、岡本先生には計画の段階から最後までお世話になり、その上沢山のご厚志もいただき感謝で一杯です。

これからも会員が一人でも増えて更に楽しい温習会が出来ますことを祈り、私の元気の源は詩吟かなと思いつつ卒寿に向けて頑張つて行けたらと思います。

花満ちて

神前に和す 吟の会

錦友の 結ぶ縁や 花の宴

(小倉支部 緒方錦幸)

を巡りました。国友では戦国時代から江戸時代にかけて火縄銃の生産が盛んでしたが、今はその名残りもなく、職人さんは残っていないようです。



ところで、このミュージアムでは一般人が日本で唯一火縄銃

〔余録〕

「足立山妙見宮」について

「足立山妙見宮」神社の創建には、猪と和氣清麻呂との深い関係があります。足立山と言う由来も弓削氏道鏡の皇位継承に反対の神託があったと報告した清麻呂を追放、追っ手に足の筋を切られ、宇佐の海辺で数百頭の猪に助けられ、山の麓の湯川「小倉南区」にあった温泉に浸り、足が良くなり立てたと言う。それで、足立山と呼ばれるようになり、現在も神社を守護するのは、「狛犬」ではなく「狛亥」で、足の神様として崇められています。

神社からは、北九州市の一角が望め、風光明媚な場所であり、この日も参拝と花見を兼ねた人々が沢山訪れていました。

手に持つことが許されており、実際に持たせていただき、その重さを実感しました。

散策の後はこの村にある「ともゑ庵」という古民家を改装したよい雰囲気のお店で昼食をいただきました。

今回のこのような交流の場を作っていただいた先生方に感謝を申し上げます。会員の皆様も是非一度国友の里を訪ねてみてはいかがでしょうか。

(山東支部 辻井由聡)

第三十四回日本伝統文化吟友会全国吟剣詩舞コンクール 神奈川地区予選大会で優勝する

大空を泳ぐ鯉のぼりに心も晴れ晴れとした好機を迎え、日伝吟・吟詠コンクール神奈川地区大会が開催されました。

錦城会から多くの出場者の内、関東決勝大会の出場権を勝ち得た会員の審査結果をご報告いたします。

まずは、5月10日の神奈川地区予選大会からです。会場は横浜市泉公会堂で、緊張した中での開催となりました。錦城会員の審査結果は、次の通りです。

漢詩・一般二部

優勝 水野智仁

漢詩・一般三部

準優勝 松原慎一

第三位 古賀 豊

入賞 中野三保子

漢詩・一般四部

優勝 寒河江護

入賞 中沢宏幸

短歌・一般の部

準優勝 古賀 豊

第四位 小宮喜八郎

シード権 寒河江護

運営は、高羽城幹先生が務めました。来る8月23日開催の関東決勝大会の出場をお慶び申し上げます。おめでとございませした。惜しくも入賞を逃されました皆様方は来年を期待いたした

ております。錦城会会員の皆様方、各地区予選大会に出場して技量の一助に役立てて下さいませようお願いします。

(日本伝統文化吟友会
関東支部長 金子城大)

九十七歳の挑戦

横浜西部支部に中沢教場が誕生し、私が誘われて錦城会に入会したのは、平成元年6月のことです。学友で同じ会社の友人が「同袍友有り自から相親しむ」と桂林莊雑詠を吟じたのを聞き、かねてから詩吟も良いなどの気持ちを持っていたから抵抗なく入れたのでしよう。

今は亡き石原錦紫先生は、丁寧に教えて下さいました。新しい仲間との吟詠のお稽古は、悪くはありません。先生は、詩吟は趣味の会だからと、大勢の会員を上手に纏められ、緊張感ばかりではなく、楽しい稽古でした。何よりも楽しいのは、支部の一泊旅行や初吟会などで、大勢の会員で大変ですが、本当に楽しく、何時の間にか会員を続けて何十年も過ぎてきた次第です。

稽古には、月謝が必要で、私



中川城泰さん

は、吟詠の基本をしつかり勉強し上達したいとの思いがあったので、錦紫先生に勧められて雅

第三十四回日本伝統文化吟友会全国吟剣詩舞コンクール 東京地区・埼玉地区予選大会で入賞する

梅雨時の鬱陶しい気候を迎え、日伝吟・吟詠コンクール東京地区・埼玉地区大会が開催されました。錦城会から多くの出場者の内、関東決勝大会の出場権を勝ちえた会員の審査結果をご報告いたします。

5月31日、東京地区予選大会が、野方区民ホールにおいて開催されました。

漢詩・一般四部

審査の結果は、

審査員特別賞 木屋吉弘

号時代からビクター吟友会のコンクールに参加しました。神奈川予選の通過を目指しますが、予選落ちの状況は長いこと続いています。

私は、幸いに身体の心配はなく、二本杖で歩行できれば、来年も、日本伝統文化吟友会の吟詠コンクールに挑戦してみようかと思っております。

(横浜西部支部 中川城泰)



6月7日、埼玉地区予選大会が、宮原コミセンで開催されました。

漢詩・一般三部

入賞 斉藤幸子

入賞 相沢ヒロ子

短歌・一般の部

入賞 林 清隆

シード権 有原裕絵

となりました。運営は、金子城大、大田錦虹先生が務めました。来る8月23日の関東決勝大会

の出場をお慶び申し上げます。おめでとございませした。惜しくも入賞を逃されました皆様方は来年を期待いたしてしております。錦城会会員の皆様方、各地区予選大会に出場して技量の一助に役立てて下さいませようお願いします。

8月23日は、八王子市芸術文化会館(いちよう小ホール)の関東決勝大会でのご健闘を祈念いたします。

編集後記

最近では、お年寄りを狙った詐欺事件、フェイクニュースが溢れ、ニュースでは、毎日これらを報じる世の中になってしまいました。

自分だけは騙されたいと思っ

持って日々精進して頑張っています。この吟友を信じて、お互い切磋琢磨して、さらに錦友の結束を深めて行きませしよう。

(S)

5月道央本部便り

令和7年5月7日

一般社団法人詩吟朗詠錦城会認可

北海道道央本部長 本間城楓



<住民の夢実現>

新川地区・桜並木

札幌市北区にある新川は明治21年低湿地の排水のため人工河川として開発されました。その後、市の発展、人口増に伴い河川に沿って住宅も増えていきました。特色のない新川地区に桜並木を作ろうという機運が住民の間に持ち上がりました。当時は河川への植樹は禁止されていましたが、法律が変わり着手する運びとなりました。新川連合町内会が主体となり、平成10年から3年間で植樹が完了しました。これは行政と言うより、地区の団体、住民の寄付により、のべ1300人の奉仕により、実現しました。桜並木は全長10.5キロにおよび直線の桜並木としては日本一の長さを誇り、新しい名所となりました。

皆さんお元気にお過ごしですか。色々な花も咲いてきて春爛漫、過ごし易い季節を迎えています。四季を詠った漢詩では春が一番多い、それだけ期待と希望に満ちた季節です。ただ若い時ほど感激度が少ない、まずは戸外に出て新鮮な空気を吸う事から始めませんか。

■4月26日(土) 天気にも恵まれ、11時から令和7年度師範会総会、13時から道央本部総会、14時から『桜花の集い』を札幌エルプラザで開催しました。札幌道場として此の地に誕生してから57年、北海道道央本部が結成してから36年経過し、皆様の愛顧と御支援に感謝する事から始めました。体調の悪い方もいますが、令和6年度は会員数が減にならなかった事に安堵しています。総会も無事終わり、『桜花の集い』は田島先生尺八伴奏のもと15名で第一部自由吟、第2部春に因んだ課題吟と一人二回吟じてもらいました。

<今後の予定>

- 中央支部練習日 5/12 (総会もあり) 5/19, 5/26, 6/9, 6/16, 6/30 自13時区民センター
- 道央本部自主練習 5/21 (水)、6/11 (水) 6/25 (水) 自13時、札幌エルプラザ
- 6/21 (土) 日本伝統文化吟友会北海道地区コンクール 札幌サンプラザ
- 6/23 (月) 24 (火) 総本部第一回指導者講習研修会、通常総会、滋賀県
- 7/6 (日) 道央本部主催『青葉の集い』札幌エルプラザ、時間等後日連絡

■4月の温習会は『桜花の集い』7月は『青葉の集い』11月は『菊花の集い』でどうでしょうか、ご意見下さい。浦河道場の小泉錦琇さんが浦河町の芸術文化賞を授与されました。

日々声を出す事は健康長寿につながります。